



1木をいかにきれいに薄く削れるかを競い合う参加者 2道具の調整も重要なポイント 3削りかすでフラワーアートを作成

職人たちが鉋削りの技術を競う 全国大会の盛況を願うプレ大会

「全国削ろう会千葉匠瑛プレ大会」が4月26日、市民ふれあいセンターで開催され、全国各地から集まった参加者たちが、鉋削りの技術を競いました。

今大会は、11月21日(土)・22日(日)に本市で行われる「第43回全国削ろう会千葉匠瑛大会」を盛り上げようと実行委員会が計画したもの。高知県や新潟県など全国各地から集まった約70人の参加者たちは、鉋を使って木を「きれいに・薄く」削れるかを競い合いました。また、会場内には鉋削り体験や削りかすを利用したフラワーアート作成のワークショップなどのコーナーもあり、大会を見学を訪れた人たちは、「削ったところがツルツルでいい匂い」、「削りかすの向こう側が見える」など、職人の技術と楽しさを楽しんでいました。

「海からまちを盛り上げたい」

野球場再生プロジェクトでまちおこし

ビーチスポーツ体験や地元周辺グルメを楽しめるイベント「海技」が5月3日、堀川浜で開催されました。

使用されなくなった野球場をビーチパークに再生するプロジェクトの一環で行われたこのイベント。地元の有志が約半年がかりで準備を進め、かつての野球場だった場所はビーチパーク「Ocean Base Sosa」に生まれ変わり、当日は子どもから大人まで多くの人を訪れました。

イベントの実行委員長を務めた鶴之澤弦太さんは、「人が集まり、笑顔があふれる拠点を造り、海からこのまちを盛り上げたい!という思いで始めたプロジェクト。今後もイベントなどを計画していきたい」とプロジェクトに懸けた思いと今後の抱負を語ってくれました。



ビーチバレーコートや出店が並ぶ会場

新緑の境内に響く和の音色

飯高檀林新緑祭で琴の演奏

新緑の時期を迎えた飯高寺(飯高檀林跡)の境内で4月26日、第20回飯高檀林新緑祭が開催され、市内箏曲演奏グループ「匠箏会」による演奏が行われました。

着物に身を包んだ匠箏会のメンバーたちは、新緑が映える境内で、春にちなんだ楽曲や民謡を披露しました。

また、同会場には「史跡飯高檀林跡を守る会」のメンバーが管理するボタン園があり、見頃を迎えた4月中旬には、色鮮やかなボタン約500株の花が、訪れた人たちの目を楽しませていました。



▲講堂裏のボタン園
◀和の音色が響く境内

憧れの名車や旧車が勢ぞろい

そうさモーターショーが開催



往年の名車が並び、車談議に花が咲く

国内外の名車や旧車などが、そうさ記念公園に集結する「そうさモーターショー」が4月29日に行われ、自動車愛好家や家族連れでにぎわいました。

昨年まで「昭和の日」にちなみ、昭和をコンセプトにした出店やレトロな車を展示するイベントが今年は、「Car×Music×Food」とテーマを変えて開催。会場には、愛好家ら自慢の名車など約100台が並んだ他、キッチンカーの出店やステージでのバンド演奏が行われました。

市の脱炭素化を推進

新たな地域おこし協力隊員を委嘱

「脱炭素先行地域」の実現に向けた事業を推進するため、新たな地域おこし協力隊員として高良琉星^{たからりゅうせい}さんが委嘱されました。4月20日に委嘱式が行われ、宮内市長から高良さんに委嘱書が手渡されました。

高良さんは、市の脱炭素先行地域計画の共同提案者「匠^{たくみ}さみらい株式会社」で「企業派遣型地域おこし協力隊員」として活動しています。

新隊員インタビュー

——なぜ匠^{たくみ}さみらいで地域おこし協力隊に

地球温暖化やエネルギー価格の高騰が身近な課題となるなか、国の脱炭素先行地域に選定され、全国に先駆けた取り組みを進める匠^{たくみ}さみらいの姿勢に共感し、応募しました。地域に根ざした形で脱炭素社会の実現に貢献したいです。

——協力隊としてどのような活動を

主にオンサイトPPA（初期費用をかけず、太陽光発電を導入できる仕組み）の普及を担当し、家庭の電気代軽減と再生可能エネルギーの拡大を両立させる取り組みを進めていきます。住宅メーカーや工務店をはじめとした地域の事業者の皆さんとも連携し、匠^{たくみ}さみらいから全国へ、脱炭素の取り組みの輪を広げていきたいと思っています。



高良琉星さん

沖縄県那覇市出身。専門学校卒業後、電気工事会社で太陽光発電の販売・設置に携わり、現場と顧客の橋渡し役を務める。これまでの経験を生かし、暮らしに寄り添ったプランを提案する。

——市民の皆さんへメッセージをお願いします

この度、ご縁をいただけたことを大変嬉しく思っています。「脱炭素」は遠い話ではなく、毎月の電気代や停電時の備えなど、暮らしに直結するテーマです。少しでも気になることがあれば、どうぞ気軽にお声掛けください。皆さんと共に、「未来につながるまちづくり」に携われることを心より楽しみにしています。

大小色鮮やかな植木が並ぶ

第20回匠^{たくみ}さみらい市植木まつり

今年で第20回を迎えた匠^{たくみ}さみらい市植木まつりが、5月3日～5日に開催され、会場となった生涯学習センター駐車場には、約4100点の鉢植木



植木を買い求める来場者

や造形樹が並びました。主催する匠^{たくみ}さみらい市植木組合・林淳一組合長は、「家庭で植えやすいサイズの物を多く取り揃えている」と話し、近年の多様化する購買ニーズにも対応したイベントは、連日多くの人でにぎわいました。

県内最大級の巨樹がお出迎え

ガーデン・オープン・チャリティが開催

飯高地区・安久山で5月4日・5日、ガーデン・オープン・チャリティが開かれました。市指定天然記念物のスダジイの他、ツツジや山野草などが植えられたメイン会場の平山邸の庭園と合わせて、新緑を迎えた里山の景色を見ようと多くの人が訪れました。静岡県から訪れたという男性は「想像以上にスダジイが大きい。自然のパワーをもらいました」と、県内最大級の巨樹に圧倒された様子でした。



スダジイを見上げる来場者

匠^{たくみ}の里でこどもの日イベント

ソーサマンと神輿で盛り上がる

こどもの日の5月5日、そうさ観光物産センター匠^{たくみ}の里で、こどもの日イベントが行われました。



子ども神輿の渡御

ソーサマンショーでは、子どもたちが協力して敵役の怪人を捕まえ、ソーサマンの勝利に貢献。また、仲町区^{なかつまち}の囃子連^{はやし}の先導で、元気いっぱいの子ども神輿^{みこし}が八日市場駅前を練り歩きました。

花の香りに包まれて

ふじ祭で箕作りの実演

ふじ祭の考案者・加納おせんへの感謝を込めた「おせん様のふじ祭」が、4月18日～5月6日までの期間、豊栄地区・木積で開催されました。



伝統の技を披露

地区内のあちこちで紫・ピンク・白色のフジが咲き誇り、4月25日には藤棚の下で、国の重要無形民俗文化財に指定されている「木積の藤箕製作技術」が披露されました。